

## 「自己発展」

4組 奈良部 真央

3年間を一言で表すと、「全力」だ。私は、これまでより一回り成長したと思う。まずは、1年生で学級委員を務めたことだ。自分にとって新しい挑戦だったので、立候補することさえ緊張していた。しかし、他の学級委員2人とクラスメイトの協力でスムーズに仕事をこなすことができた。クラスの代表としての責任を果たせたことで、自信を持つことに繋がった。

次に、勉学に関しては、一度も手を抜いていないと断言できる。定期考査は学年上位に入ることが目標だが、あくまでその結果に自分が納得できるかということが一番に考えた。もちろん、ケアレスミスに苦しい思いもした。しかし、全力を出し切れたから、その悔しさをバネにして進むことができた。大学でも根気強く頑張りたい。

そして、最も私に影響を与えたのは、部活動だ。幼い頃から歌が好きだった私は合唱部に入った。合唱は一人一人が努力をし、全員で息を合わせなければならない。協調性が必要になるが、ソロなどの時には、個性を発揮する必要がある。これは部活動のスローガンである『一音十色』にも通ずる。うまく音程が取れなかったり、綺麗に合わなかったり、苦労はあったが、試行錯誤してできたときは喜びを感じた。文化祭では大勢の前でステージ発表を行い、学校外の人やクラスメイトから笑顔と拍手をもらったときは、とてつもない達成感を味わうことができた。また、人前に出ることにも慣れ、授業中の発表もしっかり臨めるようになった。

高校3年間は、あっという間に感じられた。しかし、新しい友人や先輩、後輩と過ごし、部活動も勉学も一生懸命に打ち込んだ、とても濃い時間だった。自分らしさを大事にしながらいっしょに進み出せたからこそ、楽しく、充実した高校生活になったと思う。